かけ橋

令和８年１０月３０日
小平市立小平第八小学校
１１月号
https://www.kodaira.ed.jp/kodairadai8

運動会ありがとうございました！

そして、平和な未来の担い手を育む教育を！

校長　松本　雅史

秋も深まり、星空が美しい季節となりました。季節は晩秋、中庭の木々も色づいてきました。先日、オリオン座の流星群が来るというので、夜空を見上げてみましたら、北西の空に堂々とまだ夏の大三角形が輝いていました。夏の大三角形は、11月もまだ西の空で頑張るみたいですね。

さて、先日の運動会には、多くの保護者の皆様にご観覧いただき、誠にありがとうございました。運動会のいわれは様々語られますが、「運動会」という名称での催しは、東京大学（東京大学予備門：明治16年当時）が始まりとも言われています。勉強ばかりしていては、学生生活に潤いがないということで始まったとのことです。勉強漬けの学生さんも、この日ばかりは運動を大いに楽しみ英気を養うとともに、向学の志を振起したことでしょう。

八小のこどもたちも、玉入れ、綱引き、大玉送りなど、年に１度の運動会を大いに楽しめたことと思います。運動会はみんなでやるから楽しいのです。全力でやるから気持がいいのです。もてる力を大いに振り絞り、仲間を力一杯応援する、相手の本気と自分の本気をぶつけ合う、それが運動会の醍醐味です。そうしたこどもたちの元気漲る姿をご覧いただけたのではないかと思います。

そして、先月は、広島被爆１世の田戸サヨ子さんをお迎えして「平和教育特別授業」を開催させていただきました。今年95歳となる田戸さんが被爆したのは14歳の時でした。たった１発の爆弾で壊滅してしまった町、大やけどを負って体から剥がれた皮膚がぼろ布のように垂れ下がったまま歩く人の群れ、亡くなったご遺体が折り重なった川や川原や防火水槽・・・、奇跡的に生き延びたご自身とお姉さんと必死にお母さんを探した・・・。このおばあちゃんは、こうした景色を全部その目で見たんだ、その中を必死で生き抜かれたんだ、こどもたちは、本当に真剣に話を聴きました。「あたりまえじゃないんだよ」「平和を守ってください」「しっかり勉強してくださいね」・・・田戸さんの一言一言が、心に突き刺さりました。

また、国分寺の早稲田実業学校高等部の皆さんと、難民支援の「届けよう服の力プロジェクト」にも参加させていただきました。勉強が忙しい中来校し、世界の難民の現状と支援の大切さを熱く訴え、「一緒に服を集めて贈りましょう」との高校生の呼びかけに、５年生の心に灯が点きました。各ご家庭の多大なご協力の下、10月末で800着を超える服が集まっています。この取組は、11月６日まで行います。

世界の現状とこれからの未来を思うとき、何としても平和を守りぬいていきたい、世界から「悲惨」の二字をなくしたいと心から思います。平和は誰かにつくってもらうものではなく、一人一人の心に創り上げていくものだとしたら、それこそが教育の使命だと考えます。本気を振り絞った運動会、そして、そうした思い出を共に創った仲間との絆、この絆をさらに大きく広げて、みんなで幸せな未来を開いていこうという学びをすすめる学校でありたいと思います。教育は「学校教育」「家庭教育」「社会教育」です。これからも三者の連携を強固に、地域と共に進んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

11月の生活目標「友達と仲よくしよう」

運動会という大きな行事を乗り越え、たくましく成長している八小のこどもたちは、前にも増して元気よく過ごしています。

１１月は「ふれあい月間」です。本校でも、改めて「友達と仲よくすること」「互いを思いやること」について考える取り組みを行っています。学校は、たくさんの友達と出会い、共に学ぶ場所です。育った環境も、得意なことも、好きなことも一人ひとり違います。だからこそ、時には意見がぶつかったり、すれ違ったりすることもあるかもしれません。しかし、自分と違うところがあるからこそ、お互いに助け合い、新しい発見をすることができます。相手の気持ちを想像し、言葉や会話を交わしながら、お互いを大切にするコミュニケーションの輪を広げていきましょう。

生活指導主任